

機関紙
News Release

ニュース リリース

発行日 2019-6-30

第 2 2 号

発行者 大仙市手をつなぐ育成会
発行責任者 会長 柴田 貞二
Tel 0187-65-2525

事務局 〒014-0802
大仙市払田字念仏谷地27-1
新田亮子 Tel 0187-69-3108

令和元年度大仙市手をつなぐ育成会総会



令和元年度

大仙市手をつなぐ育成会総会

議 案 書

と き 平成31年4月11日 (木)
午前10時から
と ころ 大曲交流センター

総 会 次 第

1. 開 会
2. 会長あいさつ
3. 来賓あいさつ
4. 議 事
 - 1) 平成30年度事業報告および収支決算の承認について
会計監査報告
 - 2) 平成31年度事業計画(案)および収支予算(案)について
5. その他
6. 閉 会

【懇 談 会】

グループ討議(会員同士の話し合い)

総会の開催時は、まだ元号の呼び名が平成でした。5月1日から「令和」の時代に入る「令和元年度」の総会開催になると思います。今回は大仙市健康福祉部課長佐藤和博氏と大仙市社会福祉協議会会長の伊藤稔氏の出席を得て会員皆様に励ましのお言葉を頂きました。感謝申し上げます。

大仙市各地区から35名の会員と委任状による出席者が13名、合計48名の出席者を得て開催されました。飛澤事務局の進行のもとに議事が進められ、各議案ともご承認を得たことに感謝申し上げます。毎年度総会終了後に行われている研修会、今回は会員同士の懇談会にしました。

議案 第1号 平成30年度事業はどんな事をしたのかなあ!²

平成30年度の収支決算額はいくらかなあ!



平成30年4月12日(木)大曲広域交流センターにて総会を開催しました。会員の出席者は委任状を含めて48名でした。



平成30年6月7日(木)視察研修は秋田市河辺での「スクールファーム河辺」見学と体験をしました。参加者は21名でした。



第60回手をつなぐ秋田県大会、担当地域は鹿角市になります。県内から400名、大仙市から会員18名の参加者でした。開催日は平成30年9月2日、鹿角市十和田「ホテル鹿角」で開催されました。



平成30年度の交流・親睦大会は平成30年10月18日(木)奥羽山荘にて開催しました。参加者は13名でした。



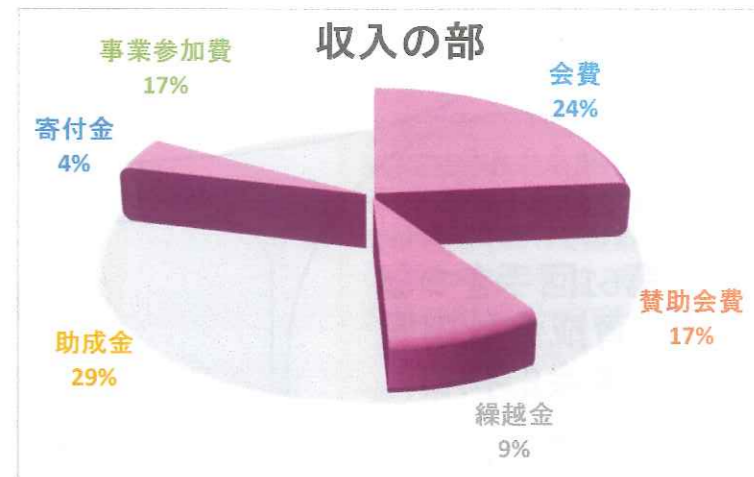
本人活動支援事業、平成30年度も認可になり平成30年11月10日(土)仙北ファミリーボウルにて開催しました。全体で31名の参加者でした。

その他主な行事への参加

月日	事業名	参加者
5・7・9・2・3月	役員会	5回各役員参加
6月8日	県育成会総会	会長
6月・11月	機関紙発行	20号、21号
10月	大仙市福祉大会	会長
1月	大仙市講演会	会員8名
3月	大曲支援学校卒業式	副会長
3月	監査	役員他12名

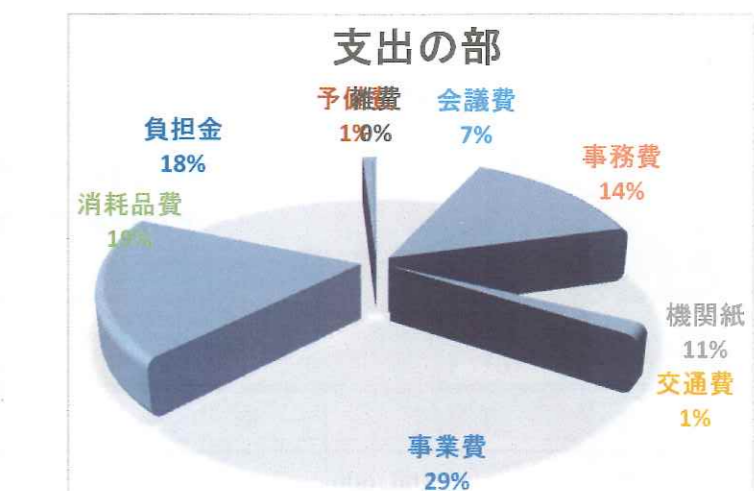
・収入の部

項目	決算額	摘要
会費	112,000	56名
賛助会員	81,000	21名
繰越金	41,072	前年度より
助成金	140,000	大仙市、社協
寄付金	20,100	モチギ明和会様
事業参加費	81,600	会員参加費
雑収入	0	
合計	475,772	



・支出の部

項目	決算額	摘要
会議費	30,328	理事会・総会
事務費	59,958	消耗品・通信費
印刷製本	50,000	機関紙2回
交通費	7,200	県総会他
事業費	124,788	研修・交流会他
消耗品費	81,600	
負担金	77,000	県育成会・社協
予備費	3,122	弔電他
雑費	1,180	郵便振替手数料
合計	435,176	



収入総額	475,772 円
支出総額	435,176 円
差引金額	40,596 円
元年度繰越金	40,596 円

平成30年度 県育成会本人活動助成事業収支決算書

収入の部		支出の部	
助成金	70,000	通信運搬費	3,720
事業費より	13,078	消耗品費	41,863
		会場費	31,800
		保険料	1,800
		雑費	3,895
合計	83,078	合計	83,078

平成30年度会計監査報告

平成31年3月7日、会長、会計係立会いの上に、平成30年度会計決算について会計帳簿、貯金通帳、現金の監査をしたところ正確かつ適正に処理されていたことを確認しましたので報告いたします。

平成31年3月7日

監事 高橋 哲美
監事 進藤 功

上記議案、議案第1号として承認されました。

令和元年度はどんな事業をするんでしょう!

議案 第2号

総会

4月11日 大曲交流センター

第61回手をつなぐ育成会秋田県大会8月4日
横手市

役員会
5/16~
6月~3月必要時

研修・交流会
6月6日・10月17日
横手・大仙市内

大仙市福祉大会参加10月予定
本人活動支援事業11月開催
その他必要研修事業参加

・収入の部

・支出の部

項目	予算額	摘要	項目	予算額	摘要
会費	106,000	53名	会議費	15,000	総会・役員会等
賛助会費	60,000		事務費	55,000	郵送、コピー等
繰越金	40,596	30年度繰越	印刷製本	50,000	機関紙印刷代2回
助成金	140,000	大仙市、社協	交通費	10,000	県総会他
寄付金	0		事業費	130,000	
事業参加費	75,000	会員参加費	負担金	77,000	県育成会・社協賛助
			消耗品費	75,000	
雑収入	404	利子他	予備費	8,000	慶弔費等
			雑費	2,000	
合計	422,000		合計	422,000	

地区別会員数

大曲地区	20名	神岡地区	3名	南外地区	1名	賛助会員
中仙地区	12名	太田地区	5名			県外 3名 県内 18名
西仙北地区	5名	仙北地区	7名	合計	53名	合計21名

上記議案、議案第2号として承認されました。

視察研修会開催

(研修日 令和元年6月6日(木) 会員 24名 参加)



令和元年5月30日に「竣工式」がありました。社会福祉法人水交会「かわ舟の里角間川」完成された全景になります。大仙市手をつなぐ育成会では完成を待って視察研修会の第1候補として、昨年からの待ちに待った計画になります。大仙市健康福祉部の支援を受けて午前9時30分市役所前をマイクロバスにて出発しました。参加者は施設利用者保護者、在宅保護者、支援学校在学保護者等24名でした。



早速、会議室に案内され、榎尾氏と三浦氏から幾多の困難を乗り越えて完成までの経過を説明され、施設内を解説付きで案内を受けました。保護者は立派に出来た室内を見て「息子、娘」が安心して生活ができると納得しました。若い保護者達も将来を考えてか「いいなあ・・・」と感心されたようです。又、榎尾氏から「いつでも相談に来て下さい・・・」との助言が印象的でした。



視察を終えて市役所に到着。大仙市手をつなぐ育成会の会員である大山利吉市議会議員と玄関でバックリ・・・「時間は皆さん宜いでしょう・・・議会場を案内する」会員はまだ見た事がない。その一声にて、参加された12名は「もうけた」心境にて案内を受けた。議長席、質問時間の裏話、待機する各部長席、委員会室等、ユーモアを含めた案内時間は好評だった。

公益社団法人秋田県手をつなぐ育成会
令和元年定時会員総会 報告

令和元年6月7日(金)、秋田県心身障害者総合福祉センター3階会議室に於いて、市町村育成会、施設保護者会等61名(委任含)の出席にて開催されました。議案の概略を記載します。

第一号議案	平成30年度事業報告について	<ul style="list-style-type: none"> 主な事業 (1) 福祉思想の啓発や情報提供 (2) 研修会・協議会の開催・行政等への問題提起活動 (3) 本人の社会参加の実現・福祉の増進活動の実施 (4) 知的障がいのある人のための各事業への共済、協力 <ul style="list-style-type: none"> 法人組織運営・総会・理事会・幹事会・正副会議 	議決・可
第二号議案	平成30年度決算報告について	<ul style="list-style-type: none"> 正味財産期末残高 5,366,294円 経常収益計 11,077,735円 ・ 経常費用計 11,604,376円 収益(公益事業7,507,900)(収益332,645)(法人3,237,190) 費用(公益7,808,893)(収益323,345)(法人3,472,138) 以上から(収益-費用)=マイナス526,641円 	議決・可
第三号議案 監査報告について(略) 第四号議案 役員を選任について(前年度留任)			議決・可
第五号議案	地区育成会(親の会)及び施設保護者の退会について	<ul style="list-style-type: none"> ○ 皆瀬地区手をつなぐ親の会(湯沢市皆瀬地内) ・ 退会事由・・・会員の高齢化に伴い、年々会員が減少し現在12名ほど、ここ数年新規加入者は無い、平成30年6月29日の総会において、会員の意見を聞き、退会届提出 	議決・可
		<ul style="list-style-type: none"> ○ サンハウス保護者会(秋田市上北手地内) ・ 退会事由・・・保護者の高齢化により育成会の活動に参加・協力すること、また若い世代の保護者には共働きが多く活動に参加することが難しい状況にある。総会にて協議した結果、退会するものと決した。 	
		<ul style="list-style-type: none"> ○ 湯沢市をつなぐ育成会(湯沢市地内) ・ 退会事由・・・総会において、緊急事案(退会の件)の提案があり、長時間にわたり審議した結果、退会する決定となった。事由は会員の高齢化に伴う身体的不調や家族構成の変化による一人暮らし等にある。役員会で再検討したものの、今後の会活動と将来展望が期待薄と判断され、やむなく退会届を提出するに至る 	
育成会定款	第8条	会員は、理事会において別に定める退会届を提出することにより、任意にいつでも退会することができる。	

【懇談会】
グループ討議(会員同士の話し合い)

今年度の総会終了後の研修は「会員同士の懇談会」にしました。6グループ(1グループ6人)に分れ自由討議とします。但し、どんな意見でも批判厳禁、良く聞き入ることを条件としました。

最初の協議を6月7日、秋田手をつなぐ総会時に期待したが、美郷町担当者欠席に付き協議進まず、今後の進行を県事務局に一任する。

共通テーマ	1. 美郷町育成会との合併について
	2. 保護者から見た本人個別支援計画書
	3. その他

美郷町との合併について	グループ6組の内5組は反対する理由がない	会員からの要望	<ul style="list-style-type: none"> お互い協議して納得する規約を作る。 助成金、会費、賛助会員等を含む事業計画の協議 育成会の名称をどうするか 合併施行日を令和2年4月としたい等
	行政機関		

保護者から見た本人個別支援計画書について	まとめ	<input type="checkbox"/> 本人に関すること(生活全般に配慮した支援)
		<input type="checkbox"/> 何か一つ良き行動(生活)を身に付けてほしい
		<input type="checkbox"/> 生活の中で本人がワクワクする楽しい支援を

その他	<p>県育成会負担金、年間7万2千円は高額であり、安くなら</p> <p>柴田大仙市育成会会長の回答(個人的見解)</p> <ul style="list-style-type: none"> 秋田県手をつなぐ育成会の財政収入は入所施設保護者一人年間3,000円、グループホーム利用者保護者(入所施設保護者より安い)等、地区別育成会(人口割りにて算定一人当たり0.9円ほど)の納入によって、賄っている。秋田県全体で平成30年度は700万円ほど、その中で入所施設からの納入は8割ほどと記憶する。しからば大仙市手をつなぐ育成会の負担金は7万2千円(平成30年度)になっております。 大仙市会員一人年会費2,000円(56名合計金額112,000円)からどの位の金額が負担しているかを考慮した場合、次の一次方程式が成立する。 $\text{負担金} = \frac{\text{県育成会への納入額}}{\text{全体予算合計-事業参加費}} \times \text{一人の年会費}$ $\text{上記式より} \quad \frac{72,000}{475,772-81,600} \times 2,000 = 365.32\text{円}$ <p>以上から、会員一人当たりの平成30年度の負担金は365円程になります。</p> <p>入所施設保護者一人当たり年会費 3,000円の納入額から比べると恵まれた環境にあり、不服とするものではないでしょう。</p>
	<p>同じ物何枚も入る不経済である。改善して</p> <ul style="list-style-type: none"> 現在の秋田県育成会会員は個人会員が2名、市町村育成会14団体、施設保護者会43団体で構成されている。大半が団体加入であり、個人、個別の管理はなされていない。従って、施設利用者保護者会、市町村育成会会員等と重複加入となれば、当然複数配布される。是正の方法は個人会員加入制度にすれば重複は無い。

大仙市手をつなぐ育成会

入会のご案内



障がい（児）者をもつ保護者として、悩みや要望を語り合ったり

福祉の増進のために活動する仲間になりませんか！

りねん 「利用者が一番のプロは私達 未来を作る出会いに夢を持つ」

◎ 会員 大仙市に住む障がい（児）者の保護者 ◎ 賛助会員 この主旨に賛同する方 地域問わず

◎ 年会費 会員 2,000円 賛助会員 2,000円以上

◎ 入会申込先 会長 柴田貞二 TEL0187-65-2525 ◎ 事務局 新田亮子 TEL0187-69-3108

※ 入会の申込者には入会申込書、振込み用紙を送ります。

賛助会員名

大森 徹 様	佐藤節郎 様	高橋隆子 様
加藤麻里 様	鎌田英寿 様	福岡恵子 様
武田雄平 様	茂木建設(株) 様	斎藤信志 様
渡部英治 様	伊藤講子 様	高橋輝明 様
佐藤芳郎 様	樫尾 茂 様	中野昭満 様
出竹 潔 様	鈴木 明 様	藤井禧和 様
古谷武美 様	村上哲朗 様	佐藤育男 様

左記の方々が平成29年度から30年度に掛けての大仙市手をつなぐ育成会(以下、育成会という)賛助会員の皆様です。皆様のご支援によって育成会が正常な形で運営されている事に感謝申し上げます。令和元年度も引き続きご支援のほど宜しく願い申し上げます。

遠くは青森県、東京都、千葉県、美郷町、横手市、秋田市、大潟村、大仙市と地域を問わずご支援を頂いている事にも感謝申し上げます。

育成会では年2回の機関紙発行にて皆様へ情報をお届けするのが唯一、温情に報いる方法であると思っています。愛読のほどお願い申し上げます。

大仙市知的障がい者相談員

高橋 正吉(花館柳町)	0187-62-4988	藤原 正人(協和船岡)	018-893-2139
進藤 功(六郷西根)	0187-65-2622	新田 亮子(払田)	0187-69-3108
高橋 公美子(神宮寺)	0187-72-4015	高橋 哲美(太田)	0187-89-1139
佐藤 晴子(土川)	0187-75-2501	高橋 司郎(長野)	0187-56-3735

※在宅支援や障がいのある方の身近な相談役として活動しています。秘密は厳守しますので、普段の生活のことや障がいのことなどをご相談ください。なお、それぞれの相談員に関することは社会福祉課に問い合わせ下さい。

大仙市社会福祉課 TEL0187-63-1111(内線162番)

※ 公益社団法人秋田県手をつなぐ育成会・H・Pアドレス <http://www.akita-ikuseikai.jp/>

編集後記

令和元年度に入りました。大仙市手をつなぐ育成会での事業も総会を終えて視察研修会へと進みました。育成会では会員の高齢化が進み、正会員が年々減少傾向にあります。若い方々の加入を心待ちしています。機関紙が若い方々の手元に届き加入者が一人でも多く賛同を得ることを祈念しております。

機関紙発行も22回とは11年目に入りました。今回は公益社団法人秋田県手をつなぐ育成会総会の内容、主とする概略を記載しました。その中で注目は3団体の退会議決がありました。高齢化が要因と思われます。大仙市もやがては・・年度初め早々に大仙市は総会を開催します。今回は自由に語り合う「懇談会」にしました。本音かと思えます。 Teiji shibata